

「腰痛が手持ちのレメディーで改善したケース」

牟田 みゆき

男性 45 歳

【主訴】

腰痛

【具体的内容】

普段から腰痛があり、時々痛みが強くなりマッサージを要求する。M a g - p . 30 C ではヒットせず、腸腰筋をマッサージすると「あー効くー」という割にはマッサージのあと改善した様子もない。腰が痛いとは家では動かない割には趣味のバレエに行ったりはかかさない。K i n - K e n - J i n をスプレーしても効果はない。

【レメディーの選択】

K a l i - b . 30 C

【選択の根拠】

K a l i - C a r b が「私を大事にしてよ！」というレメディーだと学ばせていただきメモしていたのですが、痛みを訴える部位は腸腰筋上だったが、K i n - K e n - J i n で変化がなかったためもしかしてと思い、K a l i - c a r b は手元になかったので似たようなというだけで 36 基本キットの中から K a l i - b i . をみつけ、マテリアメディカの大特徴に座骨神経痛、動作で好転などが合致したため試した。

【経過】

摂って 30 分後腰痛軽減。

【考察】

K i n - K e n - J i n で除外考察ができた。この事例では腰痛が主訴ではあったが、そこから出てくる欲求に着目することで解決することもあることを学ぶことができた。K a l i - c a r b がなかったから K a l i - b . という選択の仕方は無理矢理だったが、結果マテリアメディカに合致する点があったので、摂るに至った。今回は改善がみられたため、レパトリーで選択したものが手元にないとしても、発想の転換で、症状に有効なものが見つかった事例だった。